

算数科 数学科 1～6段階

算数科・数学科の目標（上段は学習指導要領からの目標，下段は本校での指導の形態ごとの目標）

小学部	具体的な操作などの活動を通して，数量や図形などに関する初歩的なことを理解し，それらを扱う能力と態度を育てる。
	具体的な操作などの活動を通して，数量や図形などに関する初歩的なことを理解し，それらを扱う能力と態度を身に付ける。
中学部	日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深め，それらを扱う能力と態度を育てる。
	日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深め，それらを扱う能力と態度を身に付ける。
高等部	生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め，それらを活用する能力と態度を育てる。
	生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め，それらを活用する能力と態度を身に付ける。

内容の構成（観点の構成）

小学部相当	1段階	数量の基礎	量と測定	図形・数量関係	実務	4 3
	2段階	数と計算				4 3
	3段階					4 5
中学部相当	4段階					4 5
高等部相当	5段階	4 7				
	6段階	4 7				

観点 段階	数量の基礎, 数と計算			量と測定		
	内容	中項目	指導内容	内容	中項目	指導内容
1 段階	具体物があることが分かり, 見分けたり, 分類したりする。	個別化する	<ul style="list-style-type: none"> ・目の前で隠された物を探す。 ・身近にあるものや人の名を聞いて指差す。 	身近にあるものの大小や多少などに関心をもつ。	大小や多少など	<ul style="list-style-type: none"> ・大きい小さい, 多い少ない, 重い軽いなどの違いに体験的に気付いたりすることができる。
		類別する	<ul style="list-style-type: none"> ・似ている2つのものを結びつけることができる。 ・形や色が同じものを選ぶことができる。 			
		分類・整理する	<ul style="list-style-type: none"> ・関連の深い一対のものの組合せができる。 ・同じものの仲間集めができる。 ・ほかの種類や質の違いがある対象を含めた集合づくりをすることができる。 			
		対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・盆や皿などを一人に1つずつ配ることができる。 ・分割した絵カードの組合せができる。 ・関連の深いカードの組合せができる。 			
2 段階	身近にある具体物を数える。	数を数える	<ul style="list-style-type: none"> ・1～10の範囲で, 1つずつ数詞を獲得していくことができる。 ・順序数をとなえたり, 数字を読み書きすることができる。 	身近にあるものの長さやかさなどを比較する。	長さやかさなど	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活の中にある具体物についての大きい小さい, 多い少ない, 長い短い, 高い低い, 広い狭いなどを理解することができる。
		一対一対応をする	<ul style="list-style-type: none"> ・数の多少が分かり, 多い方(少ない方)を指すことができる。 		比較する	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を感覚的に直接比較して理解することができる。
		分類する	<ul style="list-style-type: none"> ・形, 色, 大きさに加え用途や目的, 機能等に注目することができる。 			

観点 段階	図形・数量関係			実務		
	内容	中項目	指導内容	内容	中項目	指導内容
1 段階	身近にあるものの形の違いに気付く。	形の違いに気付く	<ul style="list-style-type: none"> ・形に関心をもつことができる。 ・形の相違点や類似点に気付くことができる。 ・同じ形のものを選ぶことができる。 			
2 段階	基本的な図形や簡単な図表に関心をもつ。	基本的な図形に関心をもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・四角, 三角, 円を「しかく」「さんかく」「まる」と名称を言うことができる。 ・四角, 三角, 円を指差しをすることができる。 ・四角, 三角, 円の型はめをすることができる。 	一日の時の移り変わりに気付く。		<ul style="list-style-type: none"> ・時刻・時間や生活と時刻とのつながりなどに関心をもつことができる。 ・生活の中でいろいろな種類の時計があることに気付くことができる。 ・朝, 昼, 晩の違いを区別することができる。 ・「きのう」「きょう」「あした」を区別することができる。
		簡単な図表に関心をもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばり表や健康チェックカード, 的当てゲーム, ボウリング遊びなどにおける勝敗表の○や×の意味を理解し, 記入したり, 使用したりすることができる。 			

算数・数学科 3, 4段階

観点 段階	数量の基礎, 数と計算			量と測定			
	内容	中項目	指導内容	内容	中項目	指導内容	
3 段階	初歩的な数の概念を理解し、簡単な計算をする。	数唱	・数を言葉で言うことができる。	身近にあるものの重さや広さが分かり、比較する。	重さや広さが分かる	・重い軽い、広い狭いに加え、対象物の状態や属性の抽出の仕方により使用されることがある太い細い、厚い薄い、深い浅い、遠い近いが分かる。	
			・具体物と数詞を一対一対応することができる。			比較する	・三者や四者の比較において、比較級、最上級などの理解や用語を使うことができるようになる。
		計数	・数多くのものを正確に数えることができる。				
			・位取りの基礎を理解することができる。				
		記数	・数字を書くことができる。				
		大小比較	・数比べをすることができる。				
		順序数	・次の数あて、前の数あて、逆の順で数詞を言うことができる。				
		合成・分解	・「合わせる」、「分ける」などの言葉の意味を理解することができる。				
			・具体物や半具体物を、合わせたり分けたり、繰り返して操作することができる。				
		加減算	・具体物を用いておおむね10まで(和が10以下の加法及びその逆の減法)加減算ができる。				
乗法	・2ずつ、5ずつでまとめて数えることができる。						
除法	・具体物を等分すること、半分に分けることができる。						

観点 段階	数と計算			量と測定				
	内容	中項目	指導内容	内容	中項目	指導内容		
4 段階	日常生活における初歩的な数量の処理や計算をする。	数量の処理	・数え方の工夫、正しく数える、やや広い範囲の数の表し方、数の大小、順序及び0の意味など、数についての理解を深めることができる。	長さ・重さなどの単位が分かり、測定する。	単位が分かり、測定する	・簡単な単位を用いた間接的な比較ができる。		
			初歩的な計算			・加法、減法の計算では増加、合併、減少、求差、不足などを取り上げ、その意味を理解し計算方法を知ることができる。	長さ	・長さを「cm」や「m」などの単位を用いて数値化してとらえることができる。
		・筆算形式の定着など計算技能を身につけることができる。			・ものさしで様々なものを正確に測定したり、直線を引いたりすることができる。			
		・乗法では「2の段」「5の段」「3の段」の九九を理解できる。			重さ	・「100g」「1kg」の重さについて実際の使用場面で量感を養うことができる。		
		・除法では「等分除」「包含除」について2や5に分けることの意味が分かる。				・「g」「kg」という用語に慣れる。		
			・冷たい、熱い、寒い、暑いなどの体感的理解を基に温度を意識できる。					
				広さ	・広い狭いの比較から平面的なものの広がり理解できる。			
					・任意の単位を用いた比較ができる。			
				容積(かさ)	・基準容器で正確に計量できる。			

観点 段階	図形・数量関係			実務		
	内容	中項目	指導内容	内容	中項目	指導内容
3 段階	基本的な図形が分かり、その図形を描いたり、簡単な図表を作ったりする。	基本的な図形が分かり、その図形を描く	<ul style="list-style-type: none"> ・正方形、長方形、三角形、円の違いがわかる。 ・正方形、長方形、三角形、円を描くことができる。 ・左右の位置関係がわかる。 	時計や暦に関心をもつ。	時計の関心をもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・時計でおよその時刻を読むことができる。
			簡単な図表を作る		<ul style="list-style-type: none"> ・○印などの簡単な記号を使用した表を作ることができる。 ・表について、数を数えたり、比較したりすることができる。 	暦に関心をもつ

観点 段階	図形・数量関係			実務		
	内容	中項目	指導内容	内容	中項目	指導内容
4 段階	図形の特徴や図表の内容を理解し、作成する。	図形を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・三角定規で直線を引くことができる。 ・正方形や長方形、三角形の違いの操作を通して理解することができる。 ・円の形をなぞるなどの具体的な活動を通して、円の性質が分かる。 	金銭や時計・暦などの使い方に慣れる。	金銭などの使い方に慣れる	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な両替をしたり買い物をしたりすることや、各種カードを利用できる。
			図表を作成する		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの結果を○×で表に表したり、絵グラフを作成したりすることができる。 ・生産量や気温の変化などを棒グラフや折れ線グラフで表すことができる。 	時計などの使い方に慣れる
					暦などの使い方に慣れる	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーの仕組みやその使い方が分かる。 ・去年、今年、来年などの年の流れ、年号などが分かる。

観点 段階	数と計算			量と測定		
	内容	中項目	指導内容	内容	中項目	指導内容
5 段階	日常生活に必要な数量の処理や計算をする。	大きい数 (1,000及び10,000の単位)	・大きい数(1,000及び10,000の単位)の読み方、書き方ができる。	長さ・重さなどの単位の関係が分かり、測定する。	長さ・重さ・量の単位の関係がわか 長さ・重さ・量を測定する	・長さ「mm, cm, m, km」、重さ「g, kg」、量「cc, ml, l」の単位相互間の関係がわかる。
			・大きい数の大きさ比べ(9,999より1大きい, 9,990より10おおいなど)ができる。			・長さ・重さ・量の測定器具の選択ができ、使用方法がわかる。
		ものを数える場合の呼称	・ものを数える場合「何羽」「何杯」などの呼称について、それぞれ数える素材によって異なること及びそれらの正しい使い方がわかる。			
			・品物を幾つかまとめた「〇組」「〇ダース」という呼称やその概念がわかる。			
計算	・繰り上がりやくりさがりのある3位数より大きい数の加法・減法ができる。					
	・加法と減法が混合した計算を行うことができる。 ・「九九」ができる。					
	・除算の意味を理解し、生活の中で使うことができる。					
6 段階	生活に必要な数量の処理や計算をする。			計算	・1,000,000程度の加減算ができる。	長さ・重さ・量などの測定方法を理解し、活用する。
		・「乗法・除法」及び「加法と減法が混合した計算」では、設問の意味を的確にとらえ計算式を立て、計算機を使用することができる。	様々な単位		・生活の中で用いている様々な単位を理解している。	
		小数 分数 百分率 割合		・「小数」(小数第2位程度)や「分数」(3等分したものの二つ分の大きさなど)の意味がわかる。	測定	
			・「%(百分率)」、「割合」、の意味がわかり、利用することができる。			
	・消費税や預金の利率などの意味がわかり計算することができる。					
	・割引と割増しの意味や2割引きと3割引きの比較、2割引きがいくらになるかがわかる。					
	概数	・「約〇〇人」や「以上」、「未満」、「切り上げ」、「切り捨て」、「四捨五入」など、日常生活においてよく使われる概数の表し方について理解している。				

観点 段階	図形・数量関係			実務		
	内容	中項目	指導内容	内容	中項目	指導内容
5 段階	図形を正しく作図したり、表やグラフを工夫して使ったりする。	図形を正しく作図する	<ul style="list-style-type: none"> ・正方形、長方形、正三角形、直角三角形、円などの特徴や性質が分かる。 ・直線、辺、頂点、直角、中心、半径などの構成要素がわかる。 ・定規やコンパスを使って、正確な図形を描くことができる。 	金銭や時計・暦などの正しい使い方が分かる。	金銭などの必要性を理解し、生活の中で定着させる事ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現金の支払い方を工夫する。 ・釣り銭のある買い物をする。 ・金額を想定して買い物をする。 ・預金や送金をする。 ・郵便料金表を利用する。
			<ul style="list-style-type: none"> ・目的に合わせていくつかのデータを表に表すとわかりやすいか判断できる。 ・折れ線グラフや棒グラフを生活の中で活用できる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・請求書や領収書について理解する。 ・漢数字の指導も必要に応じて行う。 ・各種カードなどの活用ができる。
6 段階	様々な図形、表やグラフを理解し、工夫して使う。	図形を正しく理解して使う	<ul style="list-style-type: none"> ・平行、垂直などの要素をもつ二等辺三角形、台形、平行四辺形、ひし形などの図形の特徴や性質が分かる。 ・生徒によっては立方体や球などの特徴や性質が分かる。 	生活に必要な金銭や時計・暦などを工夫して使う。	生活に必要な金銭などを工夫して使う。	<ul style="list-style-type: none"> ・レシートの金額や通帳の残高の確認ができる。 ・現金書留や振込、振替を利用した送金ができる。 ・キャッシュカードの利用と管理、普通預金と定期預金の違い、貯蓄方法やローン、金利について取り扱い、卒業後の生活に役立てることができる。
			<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて表やグラフからデータを読み、生活に活かす事ができる。 ・生活の中で生徒自身が必要性を理解し、主体的に活用できる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・時計を用い、生活の中で時間を有効に利用する事ができる。 ・24時間制での時刻の表現が分かり、生活の中で生かすことができる。 ・列車時刻表を理解することができる。 ・時速の観点について理解する。
						<ul style="list-style-type: none"> ・暦などを工夫して使う。 ・曜日、12ヶ月、季節、1年のサイクル、西暦と元号の違いや換算など、暦を活用できるようにする ・長期的な時間の把握と見直しをもつことができる。 ・スケジュール管理など、時計や暦を活用し、充実した生活を送ることができるようにする。